

PMによる研究機関の資金配分の変更及び研究機関の追加について

平成 28 年 9 月 29 日

革新的研究開発推進プログラム担当室

「革新的研究開発プログラム運用基本方針」(平成 26 年 2 月 14 日総合科学技術会議決定)に定めるとおり、研究開発機関の選定及び資金の配分は、一義的にプログラム・マネージャー (PM) の権限であるが、PM に関係する機関 (PM との利害関係機関) 又は日本国外の機関を研究開発機関として選定、あるいは、選定後の当該機関への研究開発資金の配分を変更 (増額) する場合は、「革新的研究開発プログラム運用基本方針取扱要領」(平成 26 年 2 月 27 日総合科学技術会議革新的研究開発推進会議決定)に基づき、ImPACT 推進会議による承認が必要 (当該機関の必要性、合理性、妥当性を判断)。

1. PMによる研究機関の資金配分の変更について

下記の 1 名の PM から、PM に関係する機関の研究開発資金の配分変更に関する申請があり、ImPACT 推進会議に対して承認を求めるもの。なお、研究機関への資金配分の変更は、研究開発プログラムの研究費総額の範囲内で行うもの。

PM	PM に関係する機関数	PM 関係機関と PM との関わり
山川	2	過去に共同事業を実施 (京都大学) 過去に共同研究を実施 (岩手医科大学)

・ 山川 PM : 脳情報の可視化と制御による活力溢れる生活の実現

「脳情報インフラ」プロジェクトの取組において、脳情報クラウド研究グループにより高解像度脳情報データが蓄積されてきたところである。それらの取りまとめ及び脳科学研究への簡便な活用に向け、同研究グループの中で MRI 撮像数が最も多く中核機関となる京都大学が脳情報データベースシステムを構築することになり、その研究開発資金を増額するもの。

また、脳ドッククラウド研究グループにおいて、岩手医科大学がこれまで構築してきた脳ドック検診で得られた大規模な脳情報を取り扱うクラウドデータベースについて、他の脳ドック拠点との連携における有用性が明らかになってきており、社会実装に向けて汎用的なクラウドに展開するためのシステム仕様を新たに整備するため、研究開発資金を増額するもの。

(研究開発資金の配分変更)

研究開発機関	研究開発責任者	推進会議で本機関を承認した日	当初予定研究資金 (百万円)	変更後研究資金 (百万円)
京都大学 こころの未来研究センター	阿部 修士	平成26年9月25日	34	47.2 (+13.2)
岩手医科大学 医歯薬総合研究所	佐々木 真理	平成26年9月25日	36	45 (+9)

2. PMによる研究機関の追加について

下記の1名のPMが研究機関を追加するにあたり、PMに関係する機関は含まれておらず、ImPACT推進会議において確認いただくもの。

PM	追加予定機関数	うち指名によるもの	PM 関係機関または日本国外研究機関
山川	1(0)	1(0)	—

() :PM 関係機関もしくは日本国外研究機関数

- ・ 山川 PM： 脳情報の可視化と制御による活力溢れる生活の実現

脳情報産業の創出を支える脳情報インフラの実現に向けた、様々な生活の指標と脳の健康との関連性の検証するための大規模フィールド構築の取組において、脳情報の取得及びデータベースの構築を担う機関として、非公募（指名）により選定。

（追加研究機関）

実施プロジェクト	研究機関名	研究代表者名
脳情報インフラ	医療法人恕泉会 内田脳神経外科	内田 泰史

以 上